

2018年5月23日
株式会社 リクルート ライフスタイル**【食品ロス】「食べきれなかった外食の持ち帰り」について意識と実態を調査****外食で食べきれなかった料理の持ち帰りに「賛成」87.6%
直近1年間で実際に料理を持ち帰った人は35.4%
ハードルは「持ち帰りができる飲食店なのか分からない」**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、外食で食べきれなかった料理の持ち帰りについてのアンケートを実施しましたので、その結果を発表いたします。

<要約>**POINT① 直近1年間で「外食で料理を食べきれなかった」経験のある人は58.7%。その際の持ち帰り意向は67.8% . . . P3-4**

- 過半数58.7%の人が、過去1年間で「外食を食べきれない」経験があった、との回答。男性より女性で食べきれないケースが多かった。
- 食べきれなかった料理の持ち帰り意向は67.8%。女性の40・50・60代の中高年層では7割を超える持ち帰り意向がある。

**POINT② 実際に持ち帰りをした人は35.4%と、意向者の約半数。
ハードルは「持ち帰りができる飲食店なのか分からない」が最多 . . . P5-6**

- 外食で食べきれなかった際に、35.4%の人が持ち帰りを行った一方、ほぼ同程度の33.5%の人は持ち帰り意向があったが実際には持ち帰らなかった。
- 持ち帰りのハードルは「持ち帰りができる飲食店なのか分からない」が51.8%と最多。特に「持ち帰りたかったが、持ち帰らなかった」人においては64.9%と高い数値。

**POINT③ 食べきれなかった外食の持ち帰り「賛成派」が87.6%と圧倒的多数。
賛成理由「もったいない」「食品ロス対策に有効」など . . . P7-8**

- 持ち帰りの賛否、「賛成派」が87.6%で圧倒的多数。
- 「残す（捨てる）のはもったいないと思う」85.3%。全性年代で8割以上。次いで「食品ロスの対策として有効だと思う」55.9%など。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2018年3月分)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、外食で食べきれなかった料理の持ち帰りについての賛否や考え方、直近1年間の持ち帰りの実態、持ち帰ることに対して感じるハードルなどを聴取
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2018年2月19日(月)~2018年2月28日(水)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 381,463 件
- ⑥回収数 37,205 件
- ⑦本調査対象者数 17,062 件

- ◆本調査対象者の割付について
 - ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付をおこなって回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セル について、平成27年国勢調査人口(総務省)に基づき割付をおこなった。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

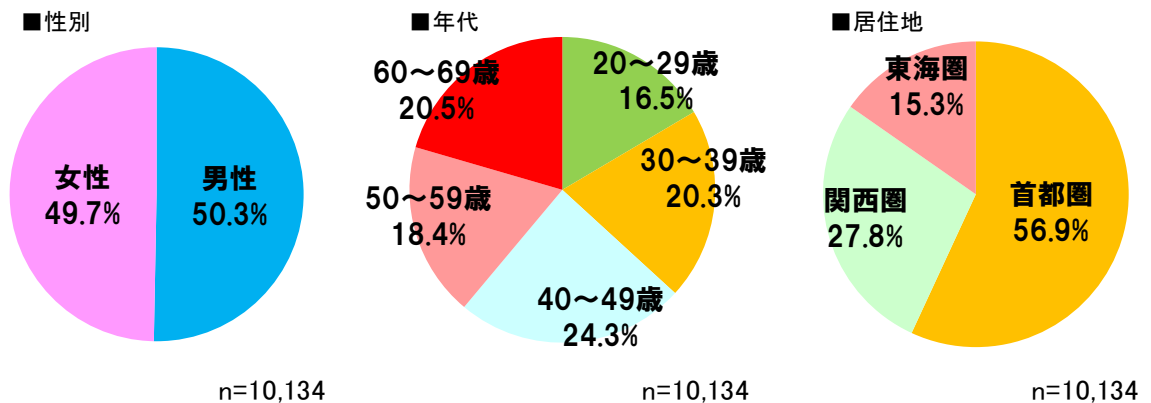
■本調査

- ①調査方法 事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
- ②調査期間 2018年4月2日(月)~2018年4月10日(火)
- ③配信数 13,306 件
- ④回収数 10,200 件 (回収率 76.7 %)
- ⑤有効回答数 10,134 件 (首都圏 5,133 件、関西圏 2,662 件、東海圏 2,339 件)

※回収された票のうち、自由回答コメントから、主旨に合わないと判断された票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1か月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
 - ・本調査結果は、平成27年国勢調査人口(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 10,134 件(首都圏: 5,770 件、関西圏: 2,813 件、東海圏: 1,552 件)

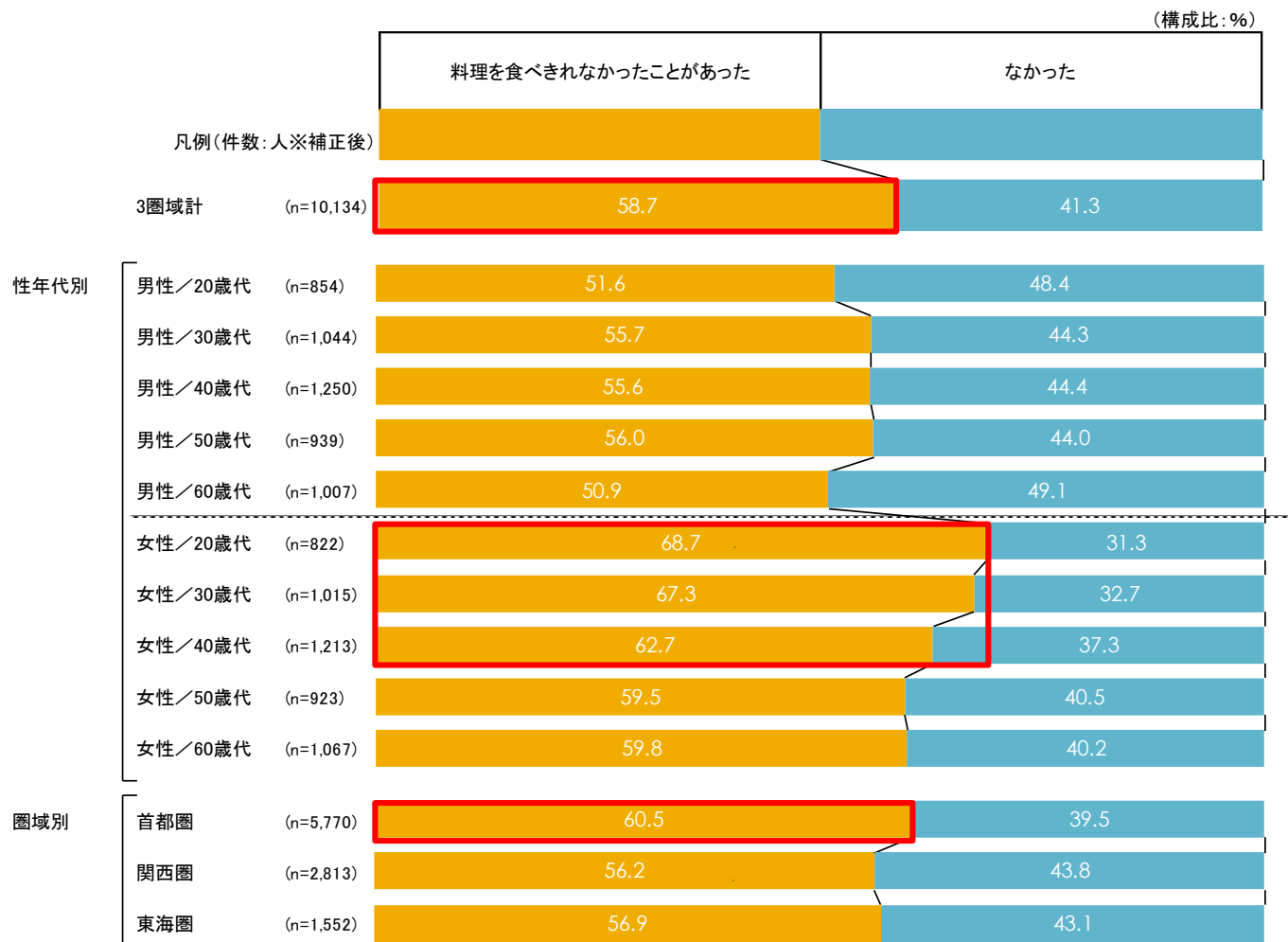
◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)



1. 直近1年間で「外食で料理を食べきれなかった」経験のある人は58.7%

今回は食品ロス低減につながる、外食で食べきれなかった料理の持ち帰りに関する意識や実態を調査。まず、実際に食べきれないケースがどの程度発生しているかを聞いたところ、全体では58.7%と、過半数の人が過去1年間で「外食を食べきれない」経験があった、との回答。性年代別では男性より女性で食べきれないケースが多いようで、特に20・30・40代女性では6割以上が過去1年に食べきれない経験をしている。また、圏域別では首都圏で食べきれなかった経験のある人が6割を超えており、東海圏・関西圏よりも高いという調査結果となっている。

■ 直近1年間の外食で料理を食べきれなかった経験の有無（全体／単一回答）

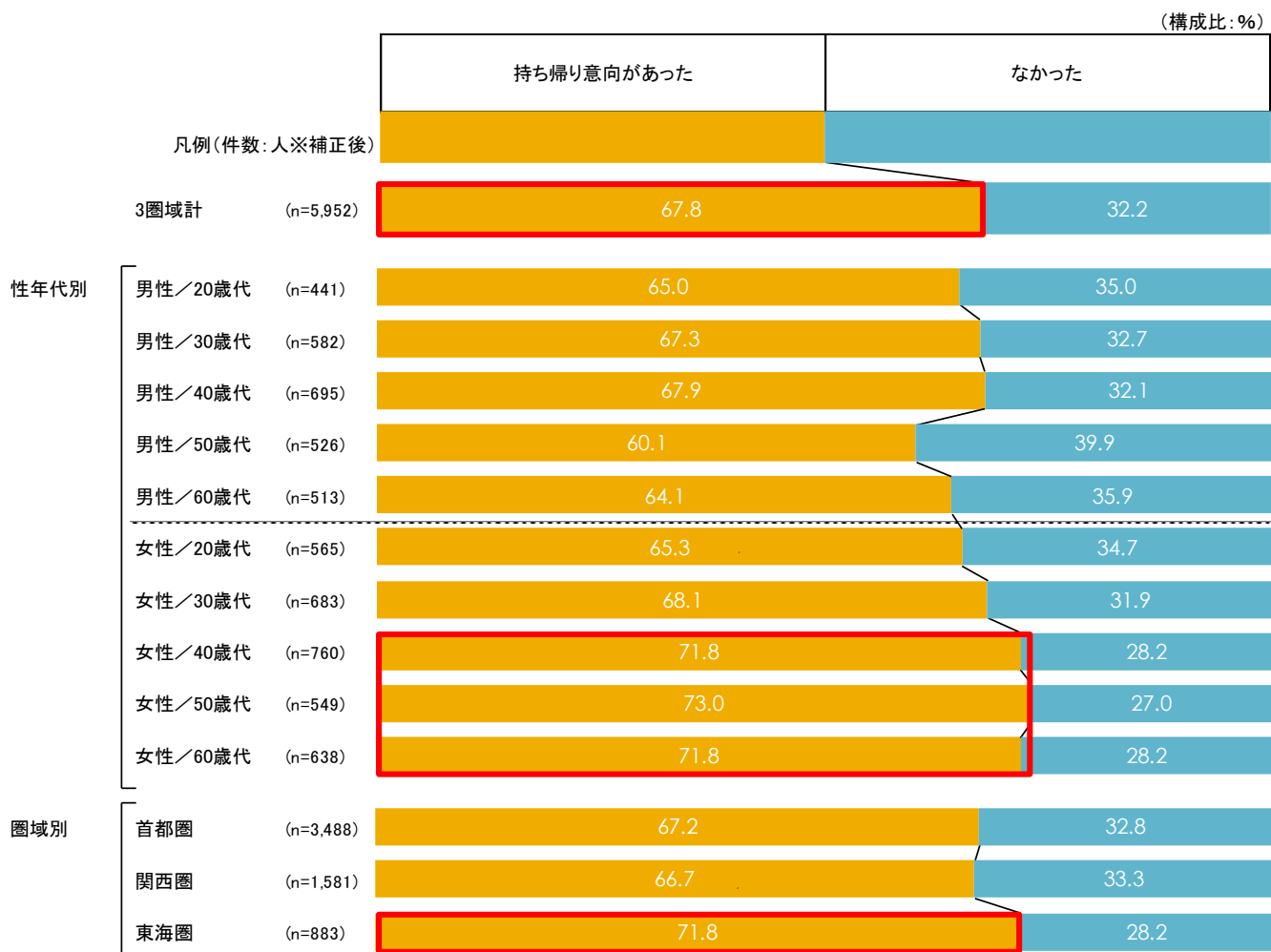


2. 食べきれなかった料理の持ち帰り意向は67.8%

前ページで過去1年間に外食で食べきれなかった経験があると回答した人に持ち帰り意向を聞いた。全体では67.8%と約2/3の人が、食べきれなかった際には持ち帰りたいと感じていたようだ。性年代別には、男女差は前ページほどははっきりとした傾向はないが、やや女性のほうが持ち帰り志向が高い傾向。女性の40・50・60代の中高年齢層で割合が高く、7割を超える人が食べきれなかった際の持ち帰り意向があった。圏域別には東海圏で7割を超える持ち帰り意向となっており、首都圏・関西圏よりもやや高かった。

■ 直近1年間の外食で食べきれなかった料理の持ち帰り意向の有無

(直近1年間に外食で料理を食べきれなかったことがあった人/単一回答)

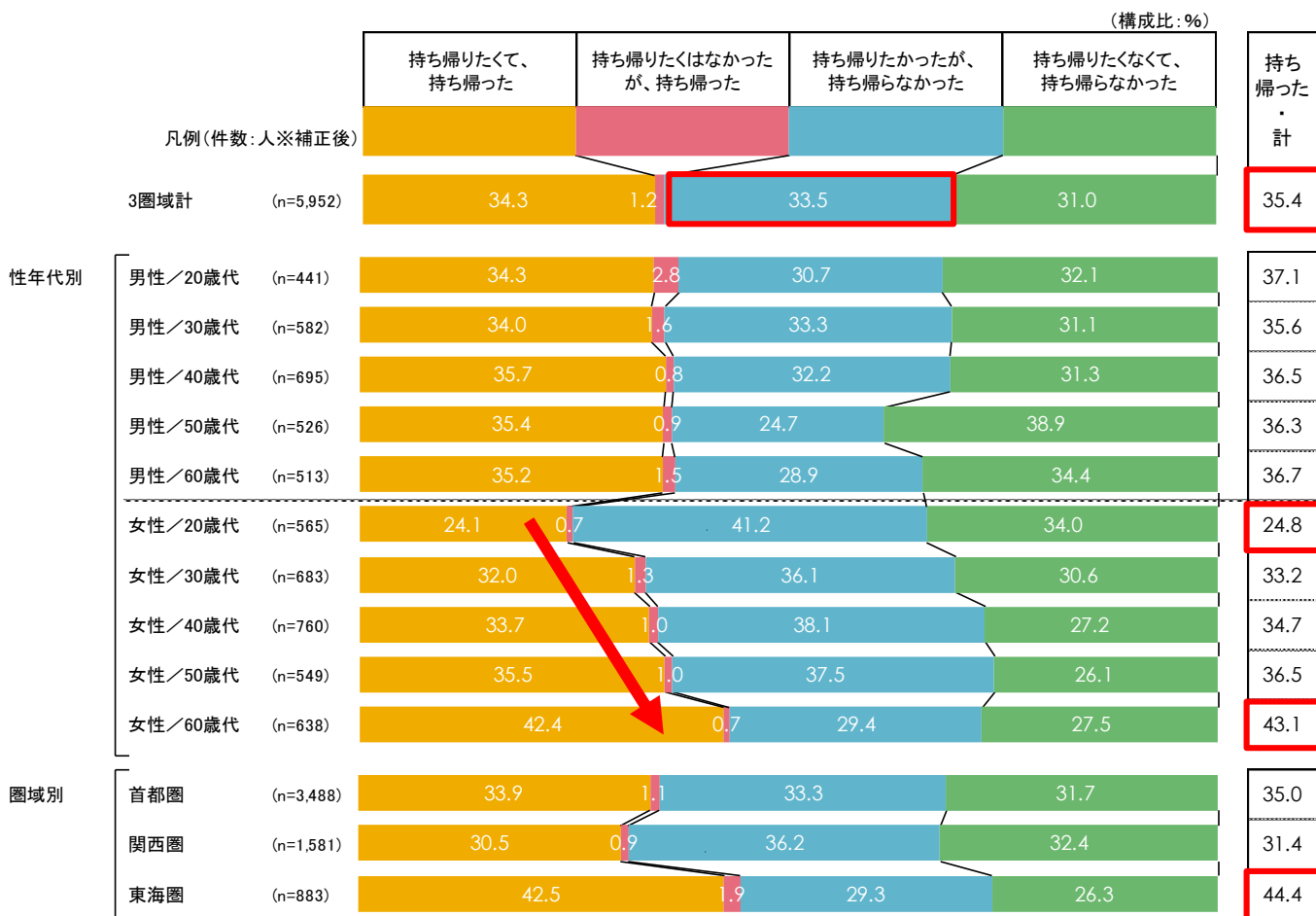


3. 実際に持ち帰りをした人は35.4%。意向者の約半数にとどまっている

前ページと同様に、外食で食べきれなかった経験があると回答した人に、その際に実際に持ち帰りをおこなったかを聞いたところ、全体では35.4%の人が実際に持ち帰りをおこなったとの回答であった。一方、持ち帰った人（35.4%）とほぼ同程度の33.5%の人は、持ち帰り意向があったが実際には持ち帰らなかったとしている。性年代では、女性では20代で24.8%と持ち帰った割合が最も低く、60代で43.1%と最も高いなど、年代が上がるほどに持ち帰り率が高まる傾向にあった。圏域別では東海圏が前ページで持ち帰り意向が高かったが、実際に持ち帰った率も44.4%と3圏域中最も高い割合であった。

■直近1年間の外食で食べきれなかった料理の持ち帰り意向と経験

(直近1年間に外食で料理を食べきれなかったことがあった人/単一回答)

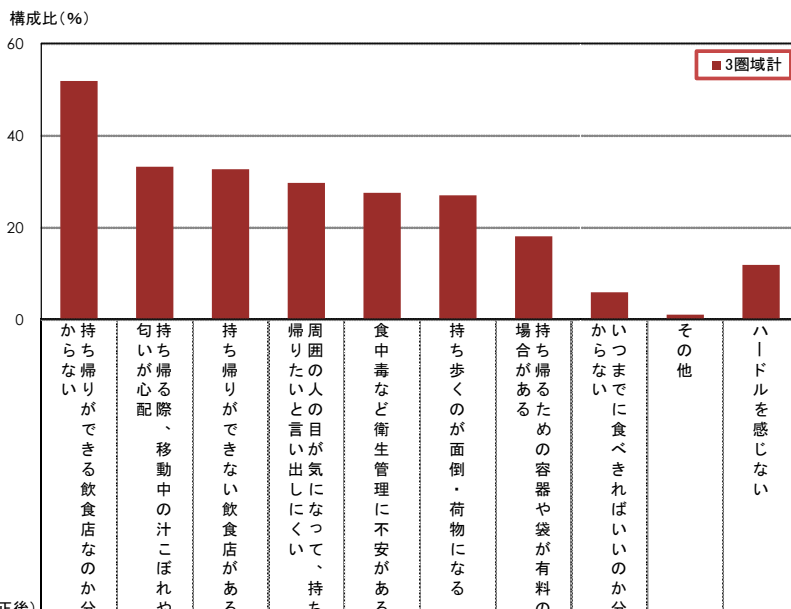


※持ち帰りたくて、持ち帰った：持ち帰り意向、持ち帰り経験ともに「あった」と回答した人を集計
 ※持ち帰りたくはなかったが、持ち帰った：持ち帰り意向「なかった」かつ持ち帰り経験「あった」と回答した人を集計
 ※持ち帰りたかったが、持ち帰らなかった：持ち帰り意向「あった」かつ持ち帰り経験「なかった」と回答した人を集計
 ※持ち帰りたくなくて、持ち帰らなかった：持ち帰り意向、持ち帰り経験ともに「なかった」と回答した人を集計

4. 持ち帰りのハードルは「持ち帰りができる飲食店なのか分からない」が51.8%で最多

外食で食べきれなかった料理を持ち帰ることに対して感じるハードルを聞くと、「持ち帰りができる飲食店なのか分からない」が51.8%と最多であった。続いて「持ち帰る際、移動中の汁こぼれや匂いが心配」が33.3%、「持ち帰りができない飲食店がある」が32.6%などとなっている。特に女性の20～50代で「持ち帰りができる飲食店なのか分からない」という回答が目立った。また、「持ち帰りたかったが、持ち帰らなかった」経験のある人でも、「持ち帰りができる飲食店なのか分からない」という回答が多かった。飲食店側で、持ち帰り対応の可否の明示や密封性の高い容器を用意することができれば、より外食で食べきれなかった際の食品ロスを減らせる余地があるのかもしれない。

■食べきれなかった料理を持ち帰ることに対して感じるハードル（全体／複数回答）



		(件数:人※補正後)	51.8	33.3	32.6	29.6	27.4	26.8	18.1	5.7	1.0	11.6
3圏域計		10,134	51.8	33.3	32.6	29.6	27.4	26.8	18.1	5.7	1.0	11.6
性年代別	男性/20歳代	854	47.1	24.1	23.0	33.3	21.1	22.9	12.1	5.0	0.4	20.7
	男性/30歳代	1,044	51.3	31.1	28.3	34.1	25.1	24.4	17.2	6.7	0.6	14.5
	男性/40歳代	1,250	47.8	31.0	27.3	26.9	22.4	24.0	17.9	4.5	0.9	16.6
	男性/50歳代	939	41.5	29.8	30.6	23.5	24.7	28.8	17.9	4.8	1.3	15.9
	男性/60歳代	1,007	37.9	31.7	32.0	17.5	26.2	29.4	16.0	4.3	1.7	14.8
	女性/20歳代	822	63.4	38.2	35.2	44.1	31.4	30.8	21.3	8.5	0.6	5.9
	女性/30歳代	1,015	63.9	40.1	34.7	41.0	33.1	29.6	19.6	7.5	1.1	5.4
	女性/40歳代	1,213	60.5	36.4	37.0	30.0	30.2	26.0	21.2	6.2	0.8	5.5
	女性/50歳代	923	59.4	37.4	37.9	25.4	29.8	27.3	20.5	5.1	1.2	7.1
	女性/60歳代	1,067	45.7	32.4	39.8	23.8	30.1	26.2	16.2	5.4	1.5	10.2
圏域別	首都圏	5,770	52.1	34.5	32.8	30.2	27.1	27.4	16.2	6.1	1.0	12.2
	関西圏	2,813	52.9	32.5	31.8	29.6	27.5	27.5	20.5	5.5	1.1	10.1
	東海圏	1,552	48.4	30.1	33.4	27.6	28.0	23.5	20.7	5.0	0.9	12.4
向持ち帰り別意	持ち帰りたくて、持ち帰った	2,040	47.1	25.8	40.9	25.1	17.5	17.1	19.0	3.5	0.9	17.0
	持ち帰りたかったが、持ち帰らなかった	1,995	64.9	32.4	40.4	42.3	22.1	23.7	19.2	5.1	1.0	2.7
	持ち帰りたくはなかったが、持ち帰った	70	38.4	41.2	39.1	26.8	34.5	32.6	24.9	6.3	-	7.7
	持ち帰りたくなくて、持ち帰らなかった	1,847	45.1	41.8	21.6	30.5	39.7	43.8	12.5	9.0	1.4	8.2

単位:構成比(%)

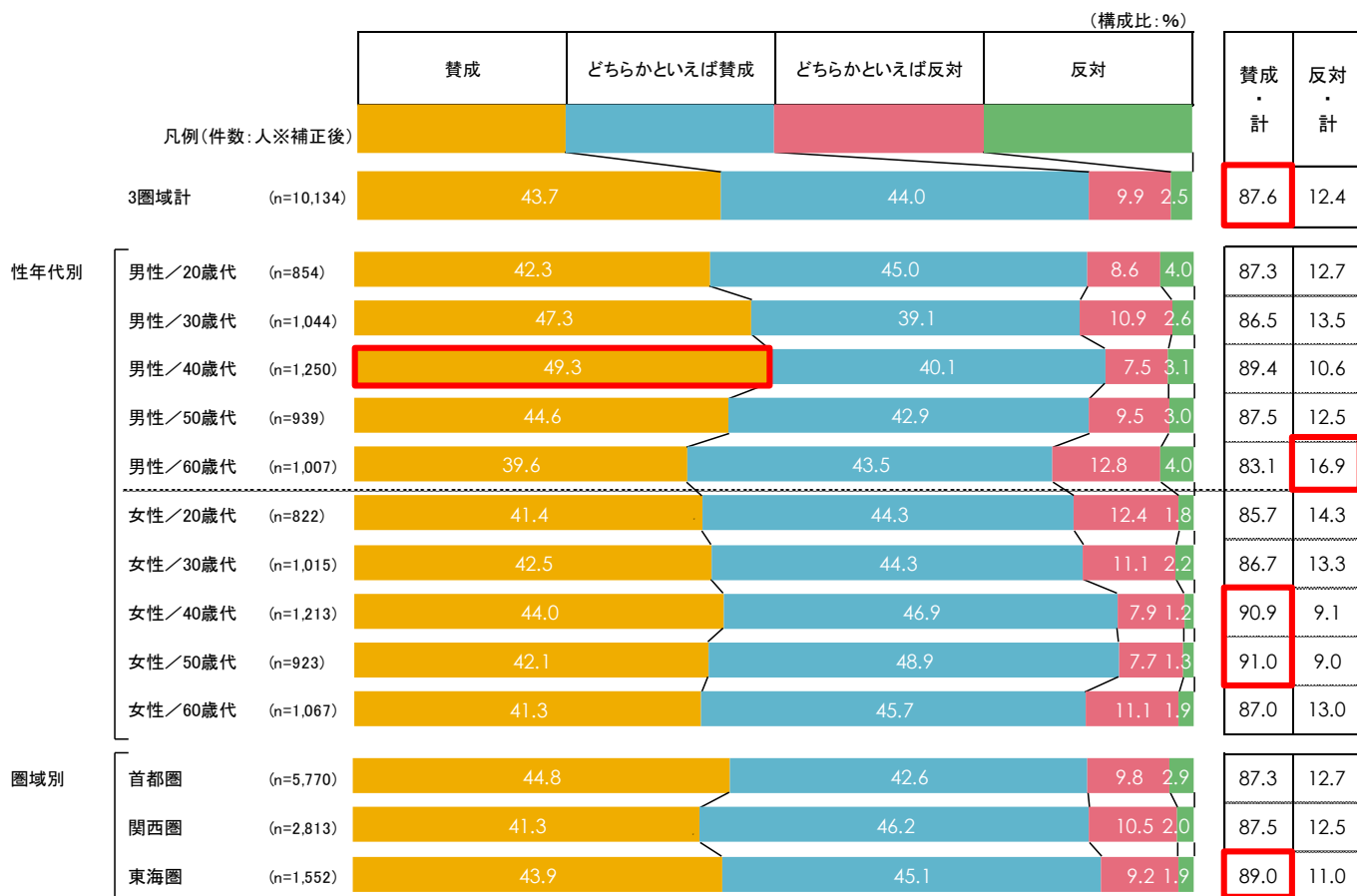
太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

3圏域計より5ポイント以上低い項目

5. 食べきれなかった外食の持ち帰り「賛成派」が87.6%と圧倒的多数

直近1年間で外食を食べきれなかった体験のない人も含む全員に、持ち帰りの賛否を聞いたところ、「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計は87.6%に達し、「賛成派」が圧倒的な多数であった。性年代別では、女性の40・50・60代の中老年層の持ち帰り意向が高かった（P4）のに対し、賛否についても女性の40・50代で賛成派が90%以上と高いスコアであった。また、「賛成」のトップボックスだけをみると最多は男性40代の49.3%で、ほぼ半数が明確に賛成していることが分かる。一方、「反対」「どちらかといえば反対」の「反対派」が最も多かったのは男性60代で16.9%。圏域別の「賛成派」は、東海圏が89.0%で最多であった。

■外食で食べきれなかった料理の持ち帰りについての賛否（全体／単一回答）



※賛成・計：「賛成」もしくは「どちらかといえば賛成」と回答した人を集計

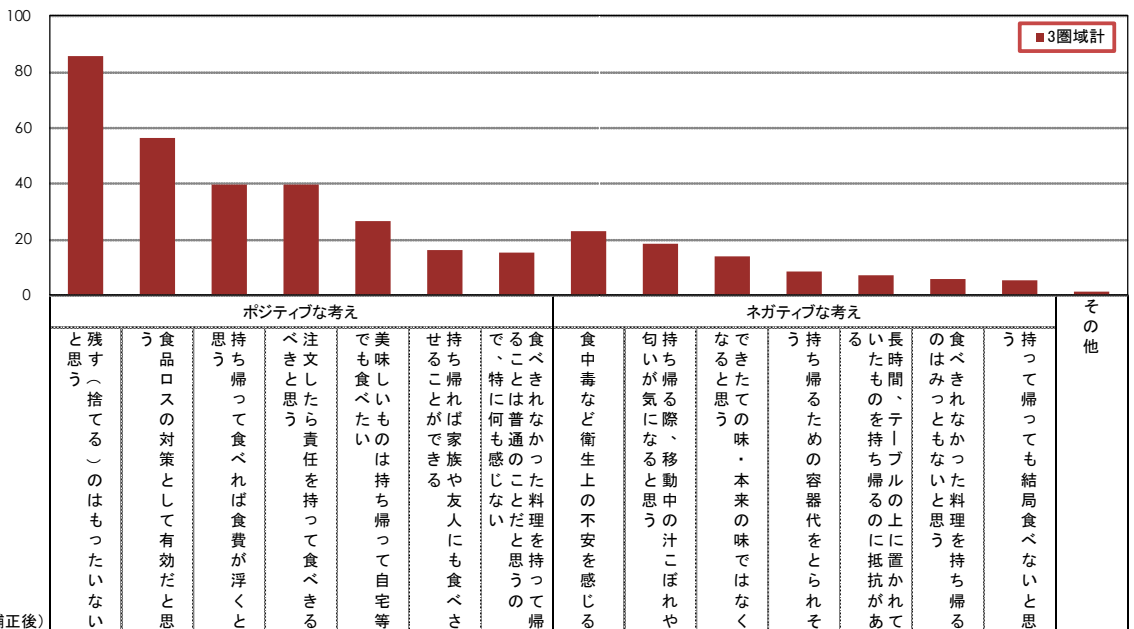
※反対・計：「反対」もしくは「どちらかといえば反対」と回答した人を集計

6. 持ち帰り賛成理由「残すのはもったいない」「食品ロス対策に有効」

全員に対して前ページの賛否につながる考えを聞いたところ、ポジティブな考え（賛成の理由）の最多は「残す（捨てる）のはもったいないと思う」で85.3%。次いで「食品ロスの対策として有効だと思う」55.9%、「持ち帰って食べれば食費が浮くと思う」39.5%、「注文したら責任を持って食べきるべきと思う」39.4%が多く選ばれた。一方、ネガティブな考え（反対の理由）としては、「食中毒など衛生上の不安を感じる」が最多で22.7%と全体では6番目のスコアであった。性年代別では、「残す（捨てる）のはもったいないと思う」は、全性年代で80%を超える人が選択した。また、女性20代では、ポジティブな考え（賛成の理由）では「持ち帰って食べれば食費が浮くと思う」「注文したら責任を持って食べきるべきと思う」、ネガティブな考え（反対の理由）では「食中毒など衛生上の不安を感じる」「持ち帰る際、移動中の汁こぼれや匂いが気になると思う」など、多くの項目で他の性年代よりスコアが高く、賛否両面で意識の高さがうかがえる結果となった。

■ 外食で食べきれなかった料理の持ち帰りについての考え（全体／複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

3圏域計		10,134	85.3	55.9	39.5	39.4	26.2	16.0	15.3	22.7	18.3	13.7	8.3	7.0	5.4	5.2	1.0
性年代別	男性／20歳代	854	83.1	51.7	39.5	32.1	20.2	12.9	9.6	17.0	13.6	11.9	6.1	4.0	7.1	3.0	0.1
	男性／30歳代	1,044	86.3	50.7	43.8	36.0	22.5	15.0	11.6	22.9	17.6	13.4	6.2	6.4	6.7	4.4	1.2
	男性／40歳代	1,250	87.2	56.1	43.7	40.7	25.7	16.2	14.9	18.3	16.8	10.4	6.9	5.0	4.6	3.9	1.2
	男性／50歳代	939	81.5	53.4	33.7	38.8	25.6	14.4	19.5	18.2	13.9	10.6	7.0	6.4	3.6	4.4	0.8
	男性／60歳代	1,007	81.0	55.1	29.7	36.6	28.1	15.6	24.1	19.7	12.9	10.9	4.9	8.3	4.2	5.2	1.2
	女性／20歳代	822	88.9	55.9	50.4	45.2	27.0	18.1	9.9	30.3	24.3	17.7	14.4	9.5	11.6	7.6	1.2
	女性／30歳代	1,015	87.7	57.6	47.8	43.7	28.7	17.3	10.8	31.8	24.5	17.2	12.8	9.1	10.2	8.1	0.8
	女性／40歳代	1,213	88.2	58.4	43.9	41.4	28.0	16.8	14.9	25.5	22.4	16.9	10.2	7.4	3.9	5.9	0.8
	女性／50歳代	923	86.4	60.3	36.0	43.0	29.2	18.8	15.1	22.7	20.3	16.1	10.1	7.0	2.7	4.1	1.1
	女性／60歳代	1,067	81.7	59.1	26.1	36.3	26.4	14.6	20.9	21.4	17.0	13.0	5.7	7.0	1.2	5.5	1.1
圏域別	首都圏	5,770	85.2	57.2	40.0	39.0	27.1	16.5	14.8	22.5	19.3	13.5	7.5	7.3	5.5	5.2	1.1
	関西圏	2,813	85.1	53.8	38.3	40.1	25.7	15.4	14.7	22.7	18.2	15.2	10.3	7.2	5.4	5.3	0.9
	東海圏	1,552	85.9	55.4	39.4	39.7	23.8	15.1	18.0	23.6	15.0	11.9	7.9	5.5	5.3	5.2	0.7
持ち帰り賛否別	賛成	8,880	91.3	61.8	43.9	39.1	29.6	17.9	17.2	17.3	16.7	11.7	8.6	3.9	3.0	2.3	0.7
	反対	1,254	43.0	14.3	7.9	41.6	2.5	2.1	1.4	61.1	30.1	28.0	6.2	28.8	22.3	26.0	2.8

単位:構成比(%)

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

グレー 3圏域計より5ポイント以上低い項目